完成図作成要領（保全工事版）

１　基本的な考え方

(１)　完成図は当初発注、設計変更及び現場処理等の情報を一括編集する。（契約図面を重ねただけとしない。）

(２)　管理開始後の立場で編集する。（管理上の街区名、棟番号、住戸位置等が突合できるよう工夫する。）

２　図面作成方法（標準）

(１)　ＵＲが提供する設計図（当初設計および変更設計）をもとに、現場処理等の内容も含め、完成

　　した工事目的物と整合するように作成する。撤去工事をおこなった場合は、撤去の対象や範囲を

　　示す。

(２)　各図面に完成図であることを明示する。図面枠または中表紙に施工者名を記載する。

(３)　設計事務所欄、設計名称欄は空欄にする。

３　作成する図面の種類及び仕様

(１)　作成する図面

・　完成図

(２)　製本の仕様

・Ａ３-２つ折背貼製本

(３)　電子データの仕様

完成図面等の電子データの仕様は、契約単位かつ１データあたり100MB以下となるよう作成し、データの形式は、ＰＤＦデータとＣＡＤデータ（ＤＸＦ形式を標準）とすること。

４　完成図の作成部数

完成図の作成部数は以下のとおりとする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 図面種類 | 部数 | 用途（参考） |
| ① | 製本 | ２部 | ○発注担当課（保管用）  ○住まいセンター（管理用） |
| ② | 電子データ  （ＰＤＦ） | ２部 | ○発注担当課（保管用）  ○管理担当課（附番作業） |
| ③ | 電子データ  （ＣＡＤ（ＤＸＦ）） | １部 | ○住まいセンター（作業用） |

５　完成図の提出先

監督員の確認を受けた上、発注担当課に提出する。

完成図の作成範囲等

**１．作成範囲**

１）図面目録

２）案内図

３）設備関係図（屋外配管は、オフセットを記入する。）

**２．作成方法**

１）貸与するＣＡＤデータ（設計図書のデータ）を用いて作成する。

２）発注担当課が指示する図面をＣＡＤ、ＰＤＦデータにて提出すること。

３）縮尺は、図面の種類に応じ設計図書にならい選択する。

４）各図共、必要に応じて、方位、キープラン等を記載する。

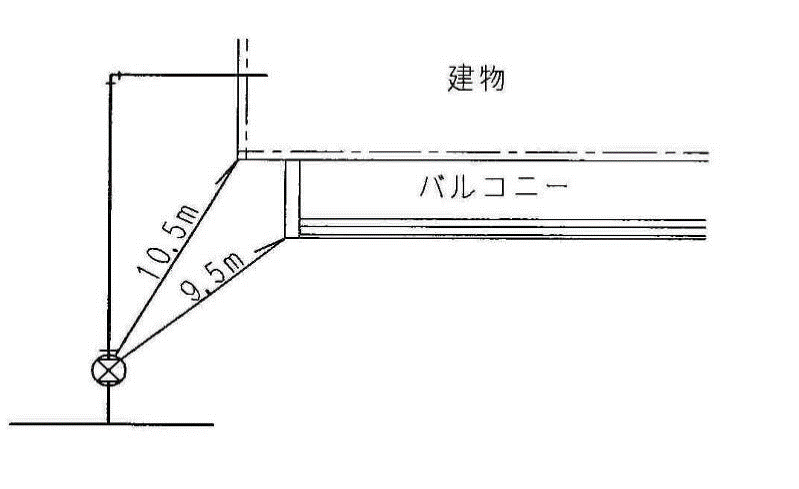
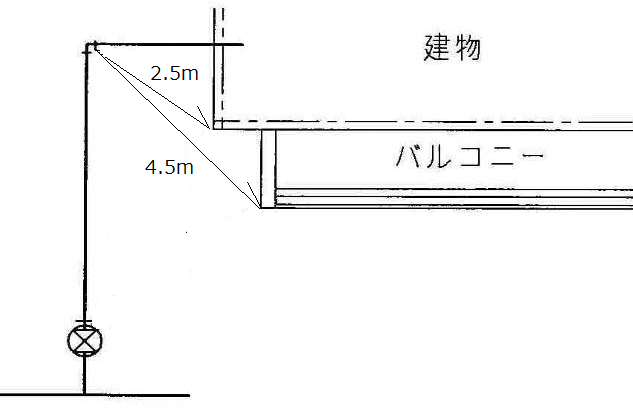
５）各種凡例、シンボル等は原則として関係諸規定等に定めるところによる。

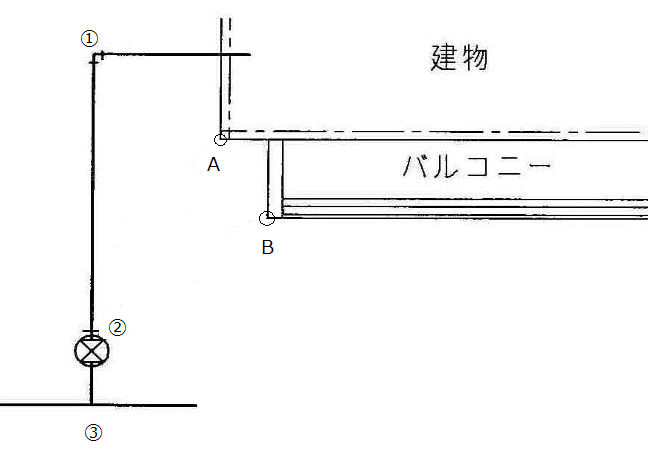
６）屋外完成図は、団地単位でまとめた1枚仕上げを原則とする。

７）屋外完成図には、配管・バルブ・栓帽等と共に表示杭・表示ピンも記入する。

８）オフセット図は、屋外埋設配管及びその弁類の不動構造物２点以上からの距離を記録した図面をいう。

《参考》二点以上のオフセットの取り方（配管屈曲部、弁類の例）

《参考》完成図への記載例（表を用いた例）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| オフセット | | | |
|  | A | B | 備考 |
| ① | 0.0ｍ | 0.0ｍ | L |
| ② | 0.0ｍ | 0.0ｍ | バルブ |
| ③ | 0.0ｍ | 0.0ｍ | 分岐 |

以　　上